

平成29年度 藤前干潟ふれあい事業主催イベントの様子をお届けします

平成30年度開催するイベントの詳細は今後続々「チラシ」「広報なごや」「名古屋市公式ウェブサイト」などでお知らせいたします！
平成30年度はここに載っている平成29年度に行ったプログラムに加え新たなプログラムも登場するかも！
続報をお楽しみにお待ちしております！！

平成30年度も開催決定

干潟体験とごみ処理工場見学

平成30年8月10日(金)開催



干潟体験に加えて、名古屋市で一番大きな焼却工場「南陽工場」を見学！
たくさんのゴミを処理するにはたくさんの工夫や秘密があります…！



藤前干潟は南陽工場のすぐ目の前♪



平成30年度も開催決定

干潟体験

平成30年7月28日(土)開催



干潟に実際入って泥や生き物たちにふれます。
水は気持ちいいし、意外と泥も気持ちいい？
夏休みはなんてったって干潟にGO!



サイエンスカフェ



飲み物片手に講師の方や参加者同士おしゃべりしながらまった〜りと干潟を学びます



平成30年度も開催決定

写真展

自分以外の人の目にはどんな藤前干潟が映っているのでしょうか？

名古屋市野鳥観察館にて

平成30年8月25日(土)~9月30日(日)開催



10月中にも別会場で開催予定!

平成30年度も開催決定

干潟を音であそぼ

平成30年8月8日(水)開催



干潟×音楽…一体どんな音が生まれるのか？
それは聞いてみないと分からない!

ふれあいトーク

様々な分野の講師をお招きして干潟に関してあらゆる角度からお話を聞きます。
干潟の新たな一面が知れるかも？



※このチラシは、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

藤前干潟ふれあい事業 (平成30年度)



藤前干潟ふれあい事業

藤前干潟の魅力をお皆さんにお伝えたくて名古屋市、環境省、愛知県、NPO 等が協力して様々なイベントを行っています！
ぜひ藤前干潟に足をお運びください！

日頃のご協力ありがとうございます ~ごみ非常事態宣言から20年~



MAP



お問い合わせ先

(Eメール)



(ウェブサイト)



藤前干潟ふれあい事業実行委員会
(事務局：名古屋市環境局環境企画課)
〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目23番13号
TEL:052-223-1067 FAX:052-223-4199
Eメール:a2662@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

藤前干潟ふれあい事業

検索

平成30年度藤前干潟ふれあい事業 「パートナーシップ事業」

藤前干潟に関する様々な「パートナーシップ事業」をご紹介します♪
いろいろな種類のイベントが盛りだくさん! すべて参加すればあなたも藤前干潟博士?

パートナーシップ事業情報

パートナーシップ事業の詳細については、各問合せ先に個別にお問い合わせください。

事業名	主催・問合せ先	日程
愛鳥週間写真展～私の好きな鳥～	名古屋市野鳥観察館	① 4月21日(土)～5月27日(日)
藤前干潟 生きものまつり	NPO法人藤前干潟を守る会	② 4月29日(日) ※雨天予備日 4月30日(月・祝)
春の藤前干潟クリーン大作戦 & 干潟観察会、ヨシの植栽	藤前干潟クリーン大作戦 実行委員会事務局	③ 5月26日(土)
集まれ! 愛岐の里山たいけん隊 ～春の里山にいこう!～	「なごや環境大学」 実行委員会事務局 名古屋市愛岐処分場	④ 5月27日(日)
環境省レンジャー写真展2018 in 碧南海浜水族館・碧南市青少年海の科学館	環境省名古屋自然保護官事務所	⑤ 6月1日(金)～7月1日(日)
秋の野鳥写真展	名古屋市野鳥観察館	① 8月25日(土)～9月30日(日)
夏休み! 干潟観察会	藤前活動センター	⑥ 8月26日(日)
干潟の遠足	NPO法人藤前干潟を守る会	② 9月9日(日)
ヨシ原探検隊	稲永ビジターセンター	⑦ 9月22日(土)
秋の藤前干潟クリーン大作戦 & 干潟観察会	藤前干潟クリーン大作戦 実行委員会事務局	③ 10月27日(土)
環境省レンジャー写真展2018～(会場未定)	環境省名古屋自然保護官事務所	⑤ 12月後半以降
渡り鳥調査隊 ～藤前干潟の野鳥を観察しよう～	名古屋市野鳥観察館	① 下表のとおり

申込・問合せ先

- 名古屋市野鳥観察館
[TEL]052-381-0160 [Eメール]nagoya.kansatukan@car.ocn.ne.jp
- NPO法人 藤前干潟を守る会
[TEL]080-5157-2002 [Eメール]info@fujimae.org
- 藤前干潟クリーン大作戦実行委員会事務局 鈴木康平
[TEL]052-908-9233、090-8421-1037 [Eメール]suzuki.1@re.commuja.jp
- 「なごや環境大学」実行委員会事務局
[TEL]052-223-1223 [Eメール]jimu@n-kd.jp
- 環境省名古屋自然保護官事務所
[TEL]052-389-2877 [Eメール]WB-NAGOYA@env.go.jp
- 藤前活動センター
[TEL]052-309-7260
- 稲永ビジターセンター
[TEL]052-389-5821

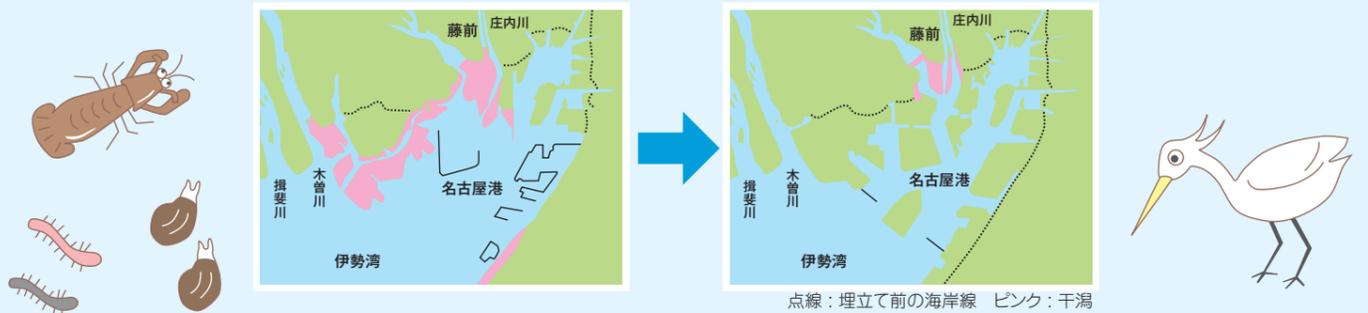
渡り鳥調査隊

日程/時間
以下の毎月1回実施 開催時間は、毎回10時～12時
平成30年
4月28日(土)
5月12日(土)
6月2日(土)
7月28日(土)
8月11日(土)
9月8日(土)
10月6日(土)
11月24日(土)
12月8日(土)
平成31年
1月19日(土)
2月16日(土)
3月23日(土)

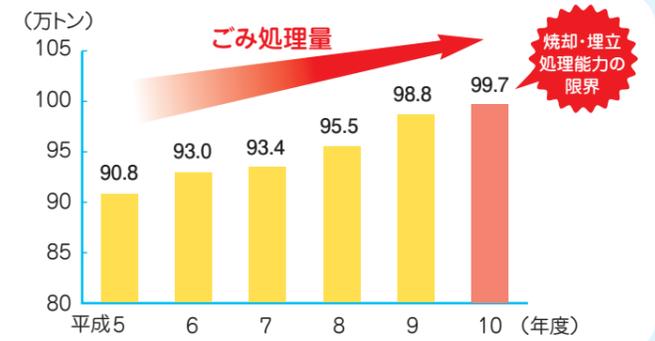
藤前干潟の歴史

～ごみ非常事態宣言から20年～

その昔、伊勢湾の奥には広大な干潟が広がっていました。しかし新田開発や工業用地として徐々に埋め立てが進み、最後に残ったのが藤前干潟です。



しかし、その残されたわずかな干潟にも埋立ての危機が訪れます。ごみの埋立処分場とする計画が発表されたのです。当時の名古屋市は年々ごみが増え続け、今まで使用していた埋立処分場ではもうわずか数年で埋める場所が足りなくなると予想されたため、新しい埋め立て場所が必要だったのです。



藤前干潟は渡り鳥をはじめ多くの生きものが生息する大切な場所なので守る必要があるとの市民の声が高まりました。

名古屋市は悩みぬいた結果、「ごみの処理も渡り鳥もどちらも大切」として、平成11年1月に、埋立計画を中止し、2月にごみを大幅に減らすことを呼びかける「ごみ非常事態宣言」を出しました。そこから市民、事業者、行政が一体となった徹底的な分別・リサイクルの取り組みが始まり、その結果、今では埋め立て量も5分の1以下にまで減少しました。

平成30年度は「ごみ非常事態宣言」から20年。これからも藤前干潟を守るため、名古屋の環境のため一人一人が分別・リサイクルなどの環境保全活動へ取り組むことが大切です。



埋立量の推移

